

会員報告

はがき通信懇親会 in 横浜

山本 智章

去る 2015 年 10 月 2 日(金)～4 日(日)に四肢麻痺者の情報交換誌「はがき通信」懇親会が横浜にて開催されました。私は 1 泊 2 日の予定で 2 日(金)に「かながわ県民センター」にて元ハンセン病回復者の石山春平さん「ハンセン病を生きて」の講演会に参加し、その後に崎陽軒本店で行われた夕食レセプションに参加してきました。3 日(土)は 1 日観光で自由行動だったことから中華街に行ってきました。

この 2 日間、一緒に行ってくれる介助者は学生ボランティアさんです。東京大会、しあわせの村宿泊体験合宿に続いて 3 回目です。今回も初めて会う学生さんとの旅行だったので家に来てもらい介助練習を行いました。介助練習の内容も前回と同じなので伝えたいことも同じです。自分がしてほしいことを相手に伝えるように言うだけです。でも、介助者が変われば伝え方が同じでも伝わる人とそうでない人もいます。今回の介助練習においても相手に伝えるように伝えることが難しく、また大事だと感じました。

当日までに学生さんと 2 回会いました。そのうち介助練習は 1 度だけでした。もちろん、不安はありましたが「なんとかかなるか」と前向きに考えることができていました。そう思えたのも東京大会、しあわせの村宿泊体験合宿を経験していたおかげで“初めての介助者”と旅行することに少し自信があったのかもしれません。

当日、JR 明石駅に学生さんと 9 時 30 分に集合して JR 姫路駅に向かいます。姫路駅で兵庫頸損連の島本さんともう一人の学生さんと 11 時に待ち合わせをしていました。全員が揃ってから昼食をコンビニで購入して“準備万端”いざ横浜へ姫路駅を 11 時 49 分発のぞみに乗り新横浜に向かいました。車内では昼食を食べながら他愛もないお喋りをして、時に携帯の地図アプリを使い現在地から移動している私たちのスピードが異常に速いことに驚いていました。そんな風に楽しく過ごしていると新横浜駅に着きました。電車の中で過ごした時間がとても早く感じられました。



旅の仲間、新横浜駅にて

かながわ県民センターに着いたのが 16 時頃でしょうか。もうすでに会場では石山さんの講演会が始まっていました。私は、ハンセン病について何も知っていません。名前も聞いたことがないぐらいです。石山さんの話を聞いてハンセン病患者は地域で言う部落みたいなもので病名を聞くだけで差別されてしまうような難病だと伝わりました。例えば親戚にハンセン病患者がいるという理由で結婚ができないことがあったそうです。

最後に石山さんから「開き直りが大事」と仰っていたのが心に残りました。これから私が生きていく中で色んな所で必要な言葉だと感じました。

講演会が終わり横浜駅前にある「ベイシエラトンホテル&タワーズ」に移動。チェックインを済ませてレセプション会場の崎陽軒本店へホテルの地下から移動。道中まったく道が分からず迷子に。地下街の店員さんに聞きながら、地下を散策してようやく到着。今回の「はがき通信懇親会」は、なんと発行 25 周年、懇親会 20 年と節目の年でした。初参加でメモリアルな年に参加できて嬉しかったです。頸損の母こと松井先生の挨拶があり、兵庫頸損連の伊藤さんの乾杯の音頭で交流会が始まりました。先程、地下をぐるぐる動いてお腹がピークに空いたころでした。食べ物はバイキング形式で飲み放題、なんて嬉しいことでしょうか。まず崎陽軒と言えば“しうまい”を食べ他の料理も食べて本場の中華を満喫できて横浜に来

て良かったと思い、ひととき食べることにばかりに集中していました。



綺麗に盛りつけされた料理

ほどよくお腹もいっぱいになり、同じテーブルのKさんと話をしていました。お互いの自己紹介や日常生活の世間話からKさんの自立生活についての話など大変盛り上がり勉強にもなりました。

レセプションも終盤に入り参加者全員が自己紹介をすることになり、皆さんの話し方に特徴があり会場から笑いがでるなど楽しい時間でした。

最後に参加者全員で記念撮影をして楽しいレセプションが終わりました。



崎陽軒本店レセプション会場

ホテルに戻り、荷物の整理をしてから夜食に買っていた“わさび味のカラムーチョ”を食べながら明日はどこに行こうかと話をしていました。少し休憩をしてから学生さんはベッドに移乗するお手伝いに行ってくれました。自らの意志で移乗のお手伝いをするとおっしゃってくれた積極的な学生さんに嬉しくて感動しました。朝食を買いに深夜

0時頃、ホテル近くにあるコンビニへ行きサンドイッチとコーヒーを買いました。ホテルに戻ってからも話をしたり買い物に行ったりとバタバタで就寝時間は夜の1時30分でした。こんな遅い時間になり学生さんに申し訳なく思いました。明日のために眠りました。

翌日、起床は6時30分で学生さんは移乗のお手伝いに。私が車椅子に乗ったのが10時頃になっていました。バタバタと朝食を摂り荷物を片付けホテルをチェックアウトしました。この日は中華街へ行く予定です。みなとみらい線横浜駅に乗り元町・中華街駅で降ります。ここが有名な中華街かと駅から徒歩1分程で着きました。まず、休日で観光客の多さに驚きました。人混みで何度かぶつかりそうになるぐらいでした。

ぶらぶら、お昼ご飯を探しながら中華街を散策していると“中国料理世界チャンピオン”という看板が目にとまったのでこのお店に決めました。肉まんとゴマ団子を注文して路地を入った所で食べました。ここ中華街で“男気ジャンケン”をすることになりました。理由は、6個入りのゴマ団子を4人で仲良く食べ、残りの2個を誰が食べるのか決めることになったからです。結果、2回とも勝った私が食べることになり、しばらくゴマ団子を見たくない気持ちになりました。



中華街善隣門

楽しく食事をしてから新横浜駅に向かいお土産を買って帰路に着きました。この2日間を通して“人がいれば旅行はできる”と改めて自信がついた貴重な経験になりました。学生さん達のおかげです。ありがとうございました。

横浜懇親会に参加して

星野 太志

私のはがき通信に関わったのは、15年くらい前か、横浜懇親会があるので遊びに来ないかと瀬出井さんから誘われた時でした。記憶は前後しますが、京都、広島、福岡、と参加させて頂きました。印象に残っているのは、10年前の福岡・懇親会です。夕食会で偶然にも向坊さんと同席になりました。

「明日の予定が決まっていなければ、我が家に来いよ！」と向坊さん。そして急な話にも拘わらず車の手配等もして貰い、北九州市から1時間くらい車で移動した海の近くの向坊さん宅に訪問する事になりました。

車道をしばらく移動してから山道の草の生い茂るところに行く。ぬかるみに足を取られ苦戦しながら着いたところは、玄界灘。遠くに船の行き交う海の眺めはすばらしかった。海風も心地よかったが、冬は寒さ厳しくフィリピンで半年くらい過ごされるのも理解できました。お宅の中も見学させて頂き、バーベキュー大会ともなった一日は楽しい思い出です。

あとで私は「はがき通信の創設者」である方と同席できたことを天の配剤と思いました。その後、向坊さんは体調を崩されて亡くなりましたが、色々と話が出来たことは忘れられません。

私はやがてスタッフとして京都で、沖縄では司会を務めさせて頂きました（緊張し過ぎてすみません）。スタッフという役割は舞台裏での苦労もありますが、全体を把握することも出来、司会をすれば人前で話すことにも慣れてきて、良い体験になりました。

今年の横浜懇親会2日目は新潟のHさん&W（付添）、私&A（付添）さんの4人で鎌倉&江ノ島へ行く事となりました。9時にホテル2階に集合、鎌倉駅へ。電車の待ち時間もありませんでしたが10時過ぎには「小町通り」に到着。この時間は人通りが少なくHさんもゆっくりとお土産を買い、鳥居の前の交差点を通過、TVで放送される流鏝馬の通路を横切り、鶴岡八幡宮の階段前横の大銀杏の前で記念撮影。次に鎌倉国宝館へ到着、

建物は古いが大きなEVで館内へ。ひと通り見て回りました。それにしても石畳は車いすには辛い。Hさんはバランスを崩しそうになりました。次は鎌倉大仏様へ。「江ノ島電鉄・長谷駅」下車。歩道が狭いので車道へ。やがて大仏様へ。外国人観光客も多い。帰路、高級そば屋で少し遅い昼食。さらに長谷駅から江ノ島駅へ。江ノ島へ渡り、Hさんは急な坂を登って神社の鳥居まで。帰りも狭い商店街の人の多さに驚きながら下の休憩所へ。帰りの橋の上から富士山を眺めつつ駅へ。江ノ島電鉄の始発駅（藤沢）から終点の鎌倉駅まで。本日、3回目の乗車。横浜には18時頃か。その後、皆さんと夕食。ホテル帰着は21時過ぎ。

以上のような強行軍で、Hさんには少ししんどい所もあったのですが、楽しかったようです。私も楽しみました。

3日目の話し合いは近況報告で、最近参加されていないAさんやBさんの近況も話題になりました。愚痴やため息もありましたが、正直なところ、体調や付添の問題をクリアして横浜まで来て下さった皆さんは上手に歳を重ねているように見えました。また、私も個人的に皆さんと会い、直に話が出来て元気を貰いました。

終わりに、皆様の健康を願いつつ、一つの区切りとなりました横浜懇親会、参加されました皆様どうもありがとうございました。

